

2022年度 コンプライアンスアンケート 【保護者向け】

2023年5月

日本ラグビーフットボール協会

2022年度コンプライアンスアンケート(保護者向け)概要

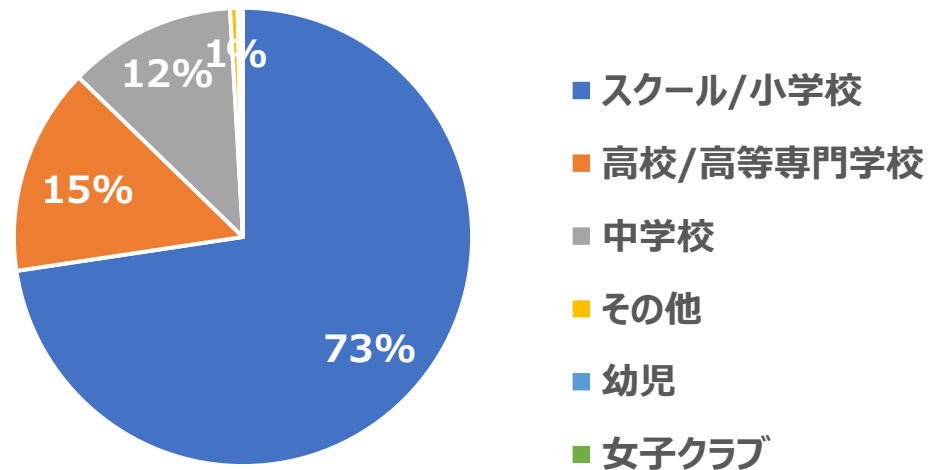
【期間】 2023年2月26日～3月19日 (22日間)

【対象】 登録チームに所属している選手 (ラグビースクール～高校生) の保護者

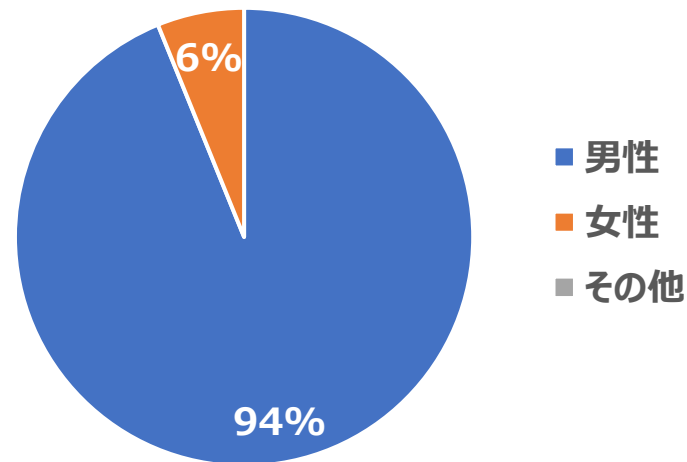
【回答】 3,197件

【方法】 チーム管理者から選手の保護者にアンケート (Microsoft Forms) を展開してもらい回答を得た

カテゴリー



性別

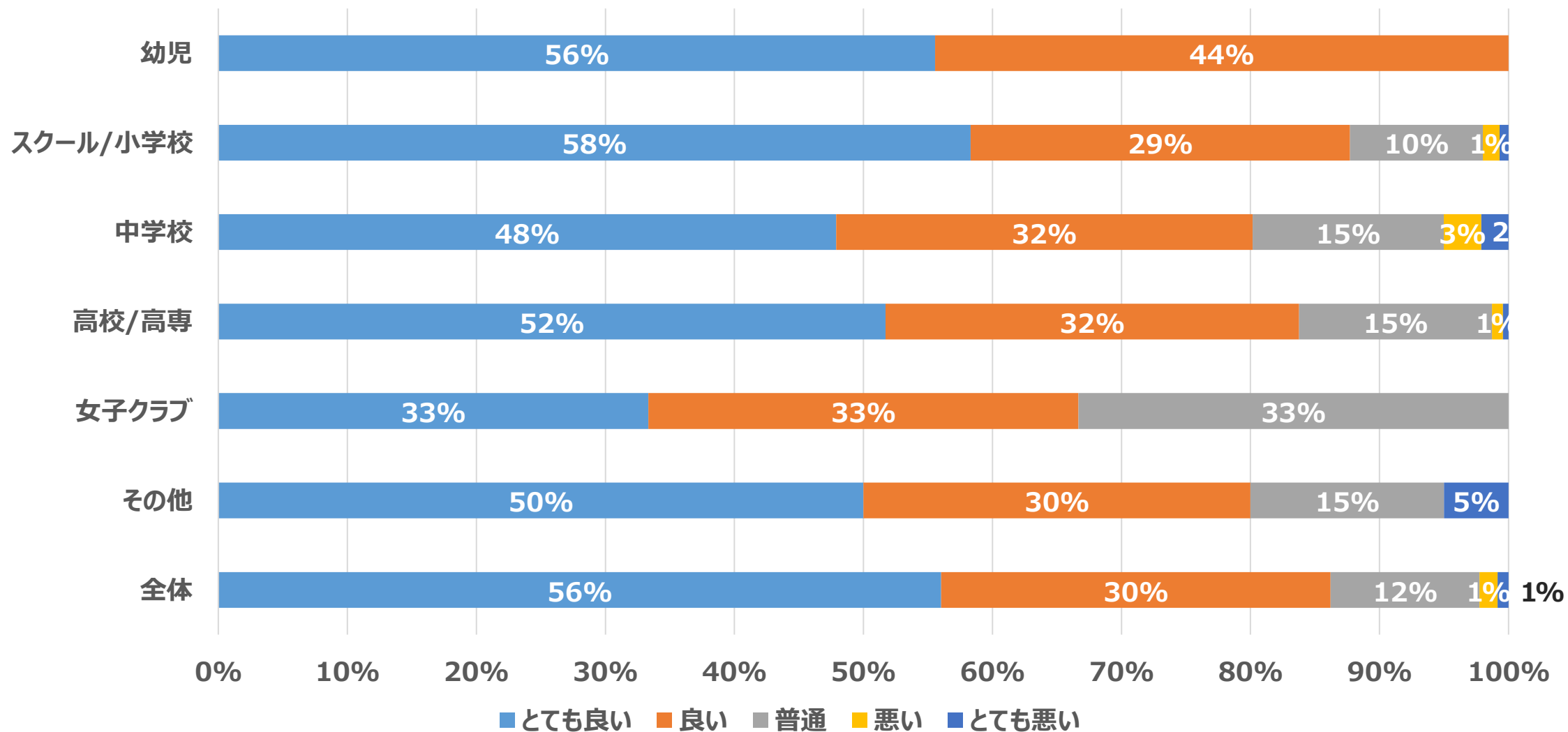


回答者の選手所属は、
主にラグビースクール/
小学校の保護者

所属チームの雰囲気はどうか？

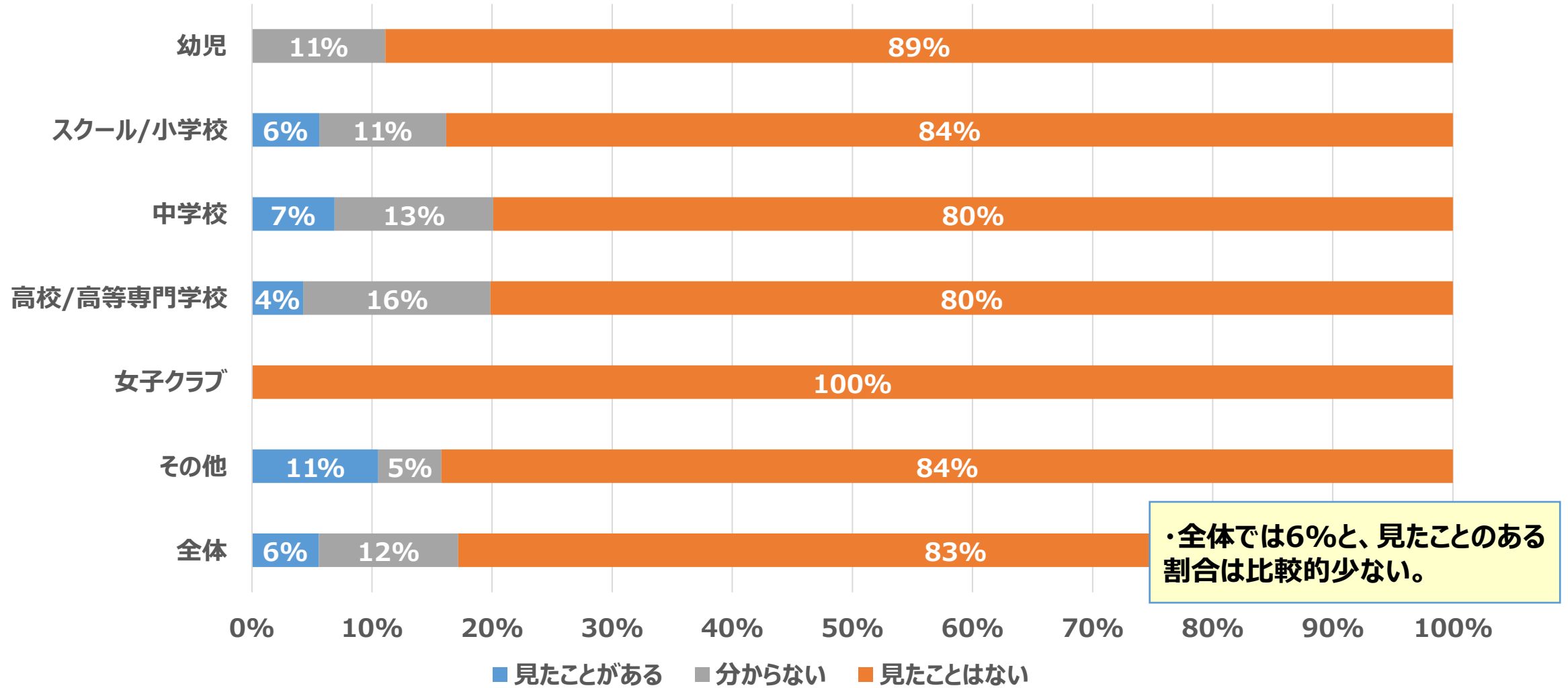
- ・女子クラブでは良い/とても良い割合が66%で、全体と比べて2割低い。
- ・とても悪いという回答は、全体で27件あった。

所属チームの雰囲気



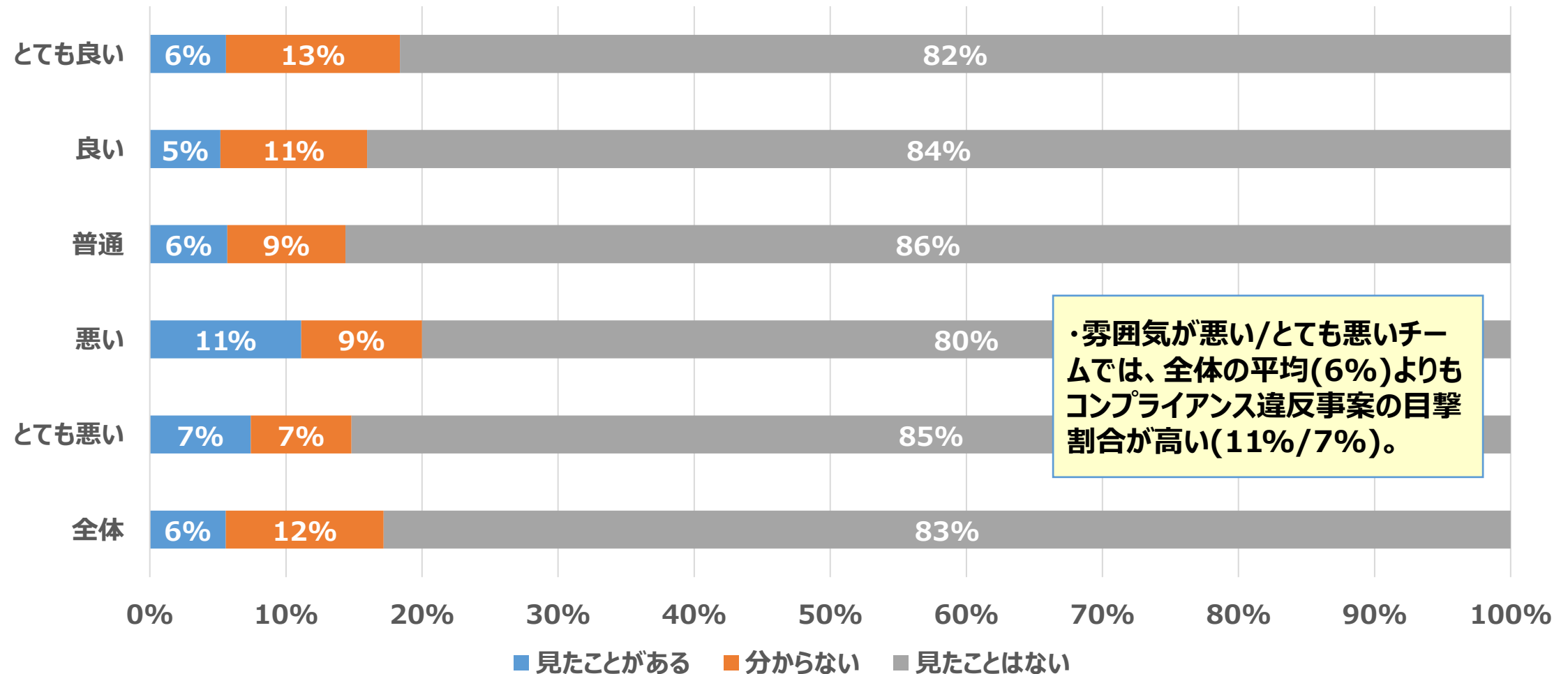
所属チームでコンプライアンス違反事案を見たことがあるか？(カテゴリー別)

コンプライアンス違反事案の目撃

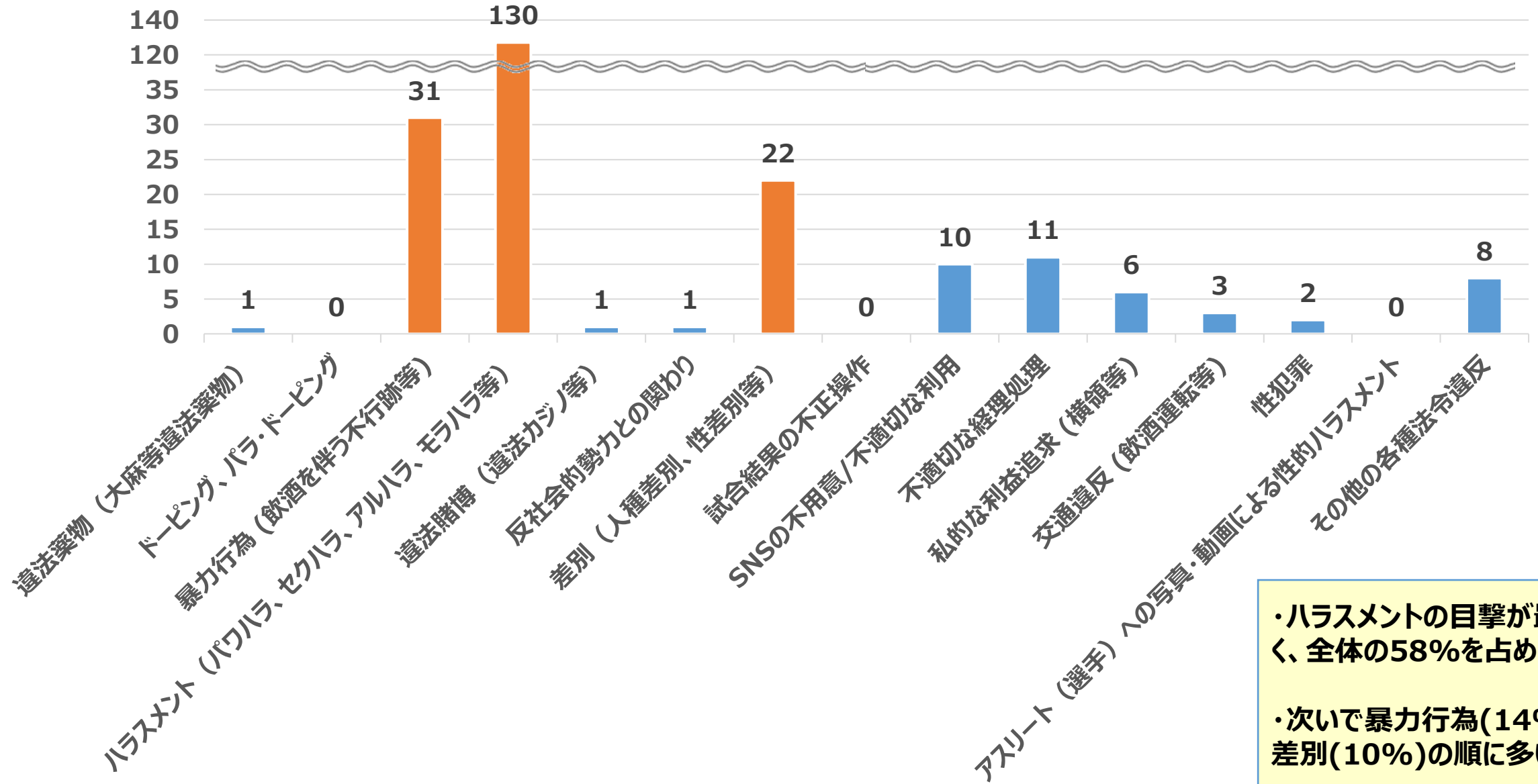


所属チームでコンプライアンス違反事案を見たことがあるか？（チームの雰囲気別）

コンプライアンス違反事案の目撃



所属チームで見たことがあるコンプライアンス違反事案



・ハラスメントの目撃が最も多く、全体の58%を占める。

・次いで暴力行為(14%)、差別(10%)の順に多い。

所属チームでのコンプライアンス違反事案 【暴力行為・暴言】

＜暴力＞

- コーチが選手である息子を殴る。
- 幼児の時監督に強く突き飛ばされた。
- コーチ対生徒の練習中に、子どもに対し危険なタックルや反則プレーなどコーチによる危険なプレーが続いた。それをされていた子どもは我慢しながらもおかしいと感じ少しづつ言葉に出していたがやめてもらえず、見かねて一緒に練習していた子どもが、おかしいや、と発言すると、その子に対し危険なプレーをしていたコーチが馬乗りになり殴りかかった。されていた本人も、自分がちゃんと言えなかったから友達がそんな目にあつた、と泣き心を痛めた。
- 子供同士ですが、後ろから押して転倒させる。それが骨折に繋がりました。その後の保護者の対応に疑問が残りました。

＜選手への暴言＞(多数)

- 監督が試合中に選手をどなりつける。叱咤激励の域を超えており、選手も萎縮してしまうし、保護者として観戦していたがすごく嫌な気分になった。
- 試合中、監督が選手に罵声を浴びせる。
- コーチが子供に練習に来るな！と怒鳴りその後威圧な態度で子供を脅していた。
- 練習中にヘットコーチを主体に「下手くそ、ヘボ、気持ち悪い」などの暴言があった。
- 密室で監督から生徒への暴言、脅しがあり、物を投げつけられた。

所属チームでのコンプライアンス違反事案【ハラスメント】

<パワハラ> (多数)

- 選手である息子に罰として昼食を与えない。
- 保護者がコーチとしての協力を断ったことで、半年間も息子が厳しく当たられた。
- 負け試合では会場解散時刻が過ぎているにも関わらず選手に対し罰として走り込みをさせ当の本人はケラケラ笑って見ている。
- テスト結果が悪いと走らせる。
- ヘッドコーチが合宿で完食しないとジュース飲ませないと言って無理した子が皆の前で嘔吐。上級学年はそんなことなく楽しく過ごしたそうだが、完食できなかった他の子もジュースは飲ませてもらえず持ち帰らされた。
- 県選抜と地区選抜どちらにも選ばれ、選手本人の意思で県選抜を辞退しようとする、それならば地区選抜の権利も剥奪すると言われた。

<モラハラ>

- 保護者間による在籍年数によるハラスメント(その保護者の考えが絶対。意見すると無視される)
- コーチからプレイ面を罵倒されるだけでなく『ぶた』などと外見面や人間性を否定するような発言が断続的にありました。
- その子の見た目をわざと動物に例えたり、小馬鹿にしたように笑っていた。

所属チームでのコンプライアンス違反事案【ハラスメント】

<アルハラ>

- 各大会後などにある飲み会の参加強要
- 母親だけで次期役員決めをする目的で招集されるが、予定されていないヘッドコーチが途中参加し飲酒が中心となり話し合いではなくただの飲み会になった。夕方には終了する予定がヘッドコーチが帰り辛い雰囲気をつくり2時間以上超過する事となる。
- 中学のコーチによる合宿で喫煙、飲酒
- 酒の差し入れ等の要求

<セクハラ>

- 合宿時の入浴写真がLINEで流れる。
- ある指導者（男）と保護者（女）が子供の前で、ベタベタする。他の親からも疑問が出ており、子供も不思議がっている。犯罪ではないが、子供達の前でやめてほしい。

所属チームでのコンプライアンス違反事案 【その他】

<危険な指導>

- 顧問が新入生(未経験者)にヘツキヤをつけないまま、中3のタックルを受けさせる。
- 怪我や病気の診断が出ていても、「そんなことくらいで弱いやつだ」などと責められ参加を強要される。
- 寮監督からの体罰で寝させない、その睡眠不足の中、練習をさせる、試合前も同じく、寮監督も顧問も最悪の体調だとわかっている中、プレーさせる。
- スクールコーチが勝利至上主義で、そのためなら小学3年生の子供達に対しラフプレー（ハイタックル、ボールキャリアーの場合は肘打ち）を教え込んでいる。チーム戦や交流戦で実際に頭を打ち、怪我をってしまった子供達を複数見ている。
- 真夏の炎天下で練習を行う。

<学業との両立>

- 模試や大学の見学よりも、練習や練習試合を優先させる。(チームよりも自分の事を優先させるのか？その日にお前が休んでチームに迷惑をかけてもいいのか？と言われた)
- 学校の定期テスト及びテスト勉強による練習の休みが取りにくい環境にある。

所属チームでのコンプライアンス違反事案【差別】

<最良>

- 練習に来ないのに、コーチの子どもだから試合に出場させ、いつも真面目に練習に来ている子どもは補欠だった。
- コーチにすり寄って媚を売る保護者、子どもへの忖度がひどい。実力や子ども達からの信頼が全くないにも関わらず試合に出す、キャプテンにする、可愛がるなど。媚を売ったり出来ない子どもにたいしてはきつくあたっています。

<Aチームとの差別>

- 一軍以外は練習も別メニュー。一軍中心で、それ以外は昇格のチャンスもないし、練習もさせて貰えない。高校へ内部進学しないと分かった時点で部活練習にも行かせて貰えない。
- コーチ陣の子どもを大きな大会で活躍させるため、その子どもと一部の優秀な選手のみAチームで別メニューで練習させ、他の子にはそこに入るチャンスが与えられず、同等な指導もされなかった（どうでもよいような扱いを受けた）。

<未経験者への差別>

- 経験が浅い子に、練習中のプレーが上手くできないと鼻で笑いまともに指導しようとされない。

所属チームでのコンプライアンス違反事案【SNS】

<誹謗中傷>

- 指導者個人のSNSやブログでの子どもや保護者への批判。

<個人情報・写真の公開>

- 個人アカウントをあたかもチームのアカウントのようにして、発信している。子どもたちの名前や顔も出している。保護者には了承を得ていない。
- SNSで個人のプライベート情報を発信する。
- コーチと当事者間での退団するまでのやりとりの内容のLINEをグループLINEにあげた。

<その他>

- 保護者コーチによるスクールホームページの悪質な改ざん。スクール運営者や、他保護者に対する迷惑行為。

所属チームでのコンプライアンス違反事案 【不適切経理処理・交通違反・その他】

<経理処理>

- 会計担当者が銀行口座も作らず何年も現金を管理していたが年度がかわって、後任の担当者に保護者会費を渡すまでに8ヶ月かかった。その後も納得のいく情報開示はない。

<交通違反>

- 迷惑駐車
- 合宿時、大人数で行動する際に路上駐車する保護者が必ずいる。

<その他>

- クラブ代表が特定政党からの出馬時、選挙応援依頼、後援会加入依頼
- 代表が自分の事業の商品をグラウンドで父兄に販売する。
- 教えながら喫煙

所属チームでのヒヤリハット事例 【暴力・暴言・言葉遣い】

＜暴力＞

- 子供たちをグラウンドの外に呼び出し、恫喝、平手打ち、首根っこを掴む
- 指導者がヘッドキャップ未装着の小学生にタックルをしコンクリートの地面で頭部強打

＜暴言・言葉遣い＞ (多数)

- 指導の際の指導者の言葉遣いが子供にとっては恐怖に感じるのではないかと思う場面がある。
- 恫喝
- 子供に対して、お前、手前というところ。
- 自分の子供は褒めて、頑張ってるリードできる子を責めるところ。
- 選手には聞こえないところでの暴言
- コーチの激しい口調の発言
- 同じチームの体の大きな子（ラグビーも強い子）でしたが、紅白戦のその相手チームのメンバーの子供達に、コーチが〇〇なんてぶっ潰せと叫んでいた事が気になりました。
- 「だからお前らはBチームなんだよ」と指導と言うよりイラっとした感情をぶつけていた。

所属チームでのヒヤリハット事例【ハラスメント】

<ハラスメント>

- グラウンドに数時間放置。
- コロナ禍で例年全員参加の合宿においての同意書に同調の圧があった。
- 試合結果に満足できず号泣してしまった他チーム選手の映像を撮影、スクール内の複数学年で共有していた。
- 中学生の方で、試験前に練習を休むのは言語道断だ！と言われると聞いています。学業優先にしてはいけないのでしょうか？
- 部内で上級生から下級生への嫌がらせなどがあったようで 多くの部員が辞めてしまった。
- 骨折している選手を出場させる。
- コロナ罹患の疑いがあるにも関わらずそれを審らかにせず出場させる。
- コーチがふざけて選手の股間を触るような行為があった。
- 性的なニュアンスを含む発言で笑いを取ろうとする。

所属チームでのヒヤリハット事例 【指導方法】

<指導方法>

- チームとして「ラグビー」の十分な練習もせずスキルも知識もない中で、「ラグビー」をしている（知っている）チームが参加する大会に参加するなどして多くの試合を組んでいて、観戦する保護者としては、正直ケガのないことを祈るような気持ちで試合を見ていました。
- 練習時に、顧問がついていない中で部活が行われ、タックルをしてけがをした生徒がいた。
- 脳振盪の選手の試合起用
- 「脳振盪からの段階的活動再開」の指針の重要性を認識しようとしなない、守らない。
- ゲーム形式練習時に大人と子どものコンタクト具合
- コーチが頑張りすぎて、選手に怪我をさせてしまいそうになったことがある。
- コーチが練習中に教え子を褒める際に高い高いをしましたが、誤って教え子を落下させてしまい腕の骨を骨折させる重傷を負わせた。
- コーチの有り余る熱意が子供達にとっていき過ぎた指導になる事がある。

所属チームでのヒヤリハット事例【差別】

<差別> (多数)

- 自分の子供には厳しくあたってしまう。
- 小学生の試合で負けてしまった際に担当コーチから「選抜チームでないから負けてしまった。選抜でやったら勝っていた」という旨の発言がありました。小学生のうち、試合への出場機会をなるべく均等にするというスクールポリシーがあるにも関わらず、スクールも半ば黙認しているようでしたし、この件も直接の当事者ではないので抗議等はしていません。スクール生への差別的な対応はおかしいと感じました。
- コーチによっては、子どもに対しての好き嫌いが前面に出ている人がいる。自分の学歴やそれが偉いというような態度がなどを前面に出し、見た目子どもを差別しているように感じる事が多々ある。
- 上手い子しか試合に出さない。
- コーチが保護者だと、自分の子しか試合に出さない。

所属チームでのヒヤリハット事例【SNS・不適切な経理処理】

<SNS>

- グループLINEにコーチをしている方から投稿される内容が、オフィシャルなのかプライベートなのか区別できず、チーム活動外の遊びに参加することが今後の選抜などに影響あるのではないかと不安。
- 全体のLINEで、特定の選手のプレーをひどい言葉でけなし続けるコーチがいた。そのせいで、1人の選手はとても傷つき、試合に出るのを止めてしまった。そのコーチを批判すると、試合に出さないなどの仕返しがあるため、誰も意見できなかった。
- コーチが前日に飲酒しているところをSNSで発信している。
- 多くの保護者が参加するチャットにて、同じ大学出身と思われる保護者同士で大麻に関する話をしていた。彼らの内輪では通じる冗談なのかもしれないがTPOをわきまえて欲しい。

<経理処理>

- 年度末に会計報告がないため年間費の内訳が用途不明。

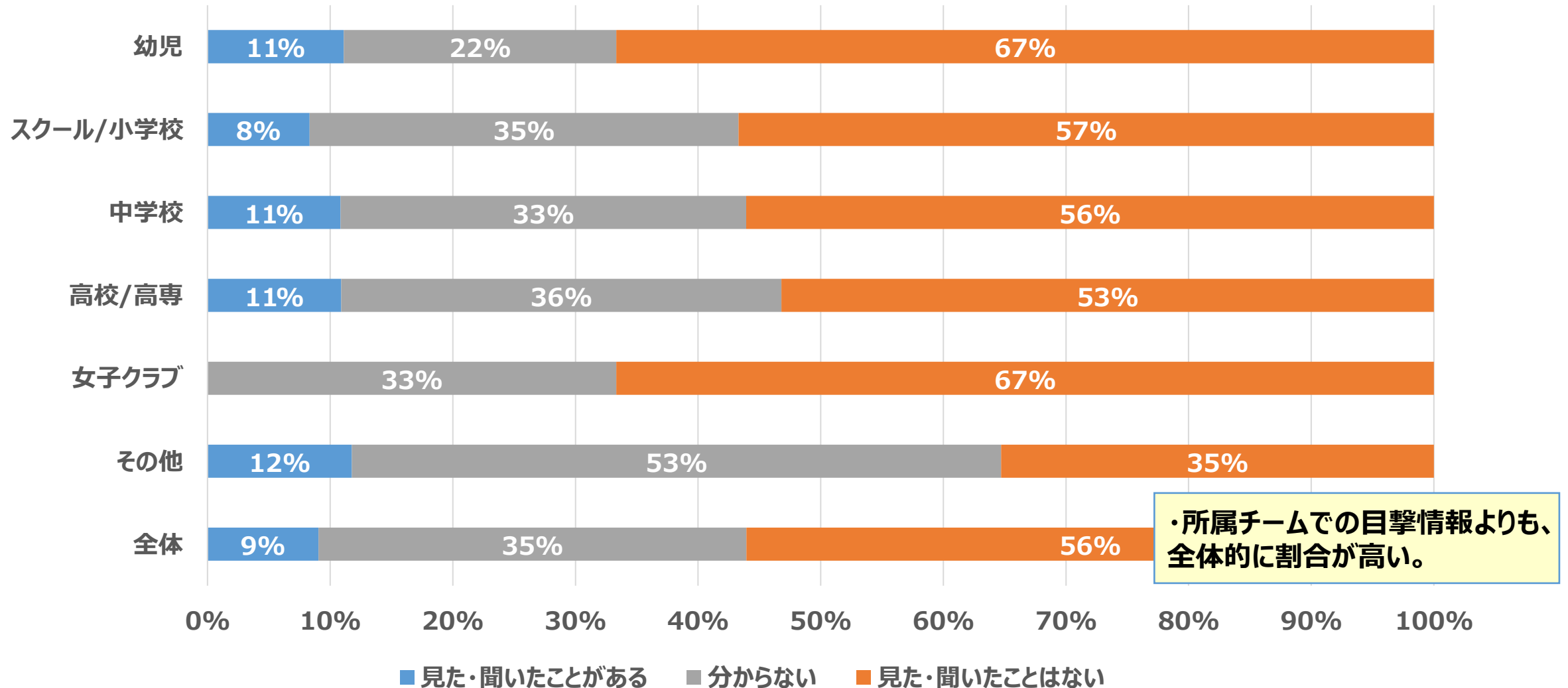
所属チームでのヒヤリハット事例 【その他】

<その他>

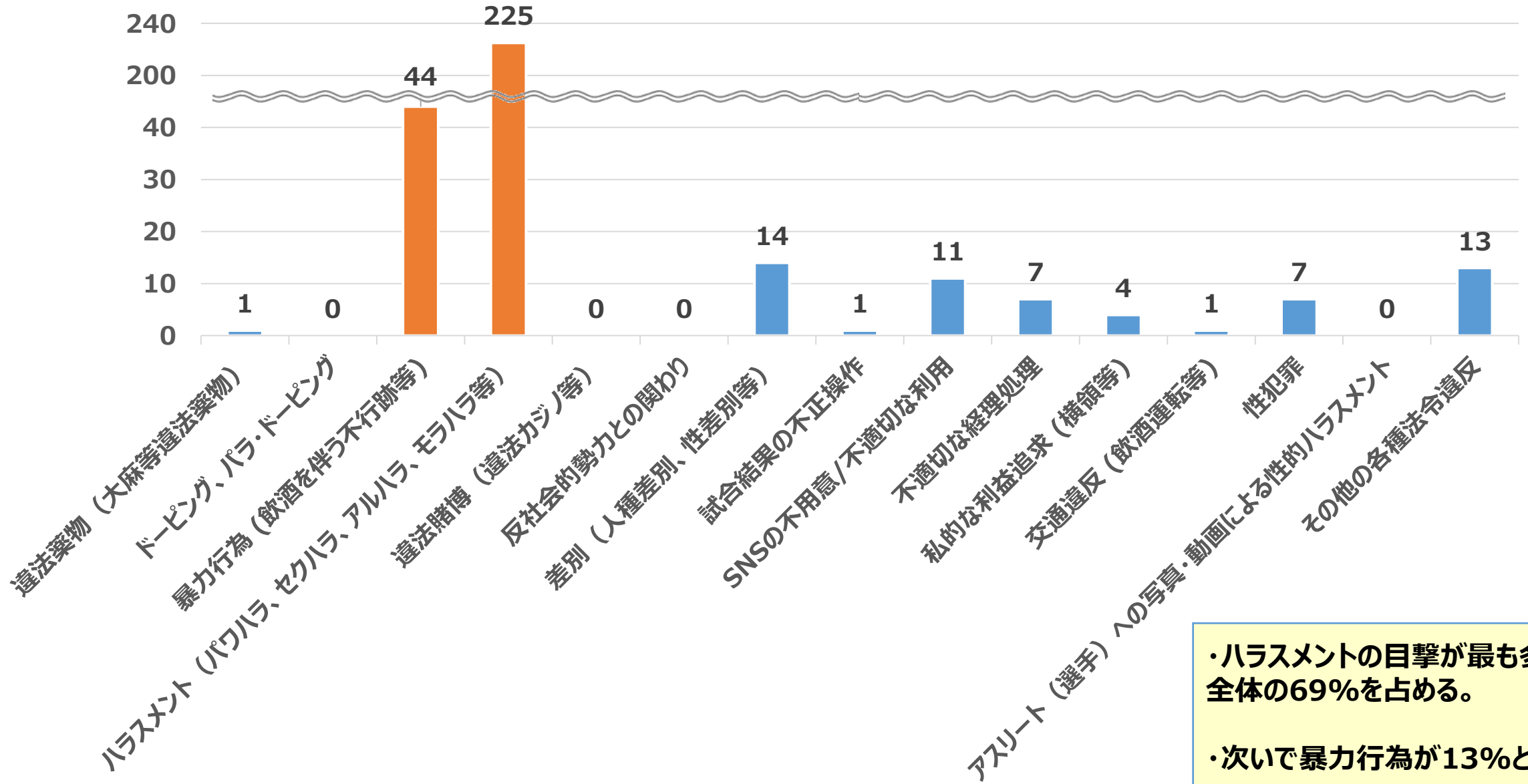
- グラウンドと道路のドアがあいていることがあり、楯円球がどう転がるかわからないので常時閉めたいが、遅れてくる人もいてなかなか難しい。
- 子供の迎え忘れ
- 親が終了時刻を勘違いし、子供の行方がわからなくなった。(子は歩いて帰宅)
- グラウンド条件が悪い箇所があり、ケガをしたことがあります。
- 公園のグラウンド整備が不十分にも感じます。合宿時に車の荷台に子供たちを乗せて移動。危険
- 幼児カテゴリーなので、練習中にフラフラと、気づかないうちにどこか見えないうちへ行ってしまふ。そこで怪我の恐れや誘拐などの可能性もありえること。
- 救急セットの備品が少なく感じました。
- 練習を抜けての喫煙

他チームでコンプライアンス違反事案を見たことがあるか

コンプライアンス違反事案の目撃



他チームでのコンプライアンス違反事案



・ハラスメントの目撃が最も多く、全体の69%を占める。

・次いで暴力行為が13%と多い。

他チームでのコンプライアンス違反事案 【暴力・暴言】

＜暴力＞(多数)

- コーチから選手への暴力(多数)
- 試合中、オーバーに入りながら殴っていた。
- 机を投げた。
- 指導者が自分の子ども(チームの選手)をみんなの前で殴った。
- 子どもを足蹴りにしていた。

＜暴言＞(多数)

- コーチから選手・レフリーへの暴言(多数)
- ミスした選手を怒鳴り散らす。
- コーチの恫喝と思える暴力的な言葉での叱咤や、物に当たり散らすなどの態度で、そのチームの選手のみならず周囲の人が怖がっていた。
- チームのコーチやスタッフではないのですが、他チームの保護者の方（お母様）の、相手選手や審判に対するヤジが酷くて驚きました。ヤジを飛ばされた相手は小学校低学年と小さいですし、自チームにそういった保護者の方を見た事がなかったので本当に驚きと節度のなさに悲しくなりました。

他チームでのコンプライアンス違反事案【ハラスメント】

<パワハラ>

- ミスに対して罰走させる。
- 気に入らない選手に対して練習を休んだら試合に出さないと威嚇する。
- 怪我で練習に出られなかった時にその時期の怪我はサボりである、そんな状態で練習に出られないなら辞めろと一方的に怒鳴られた
- 前に所属していたクラブは代表の権限を利用して父コーチ達を次々に出入り禁止等、理不尽な運営をしていた。
- 運営されている方々の好き嫌いでコーチを解任していた。
- やる気のあるコーチが練習メニューを提案した結果、コーチを解任され、その子供もチームをやめさせられたケース。

<モラハラ>

- 指導者が人格否定をするような内容の暴言を、みんなに聞こえるように言うのが、日常茶飯事になっている。
- 他のチームの監督が当チームの体格の良い選手を「おばちゃんみたい」などと保護者に面白おかしく言っていた。
- 体格の良い女子選手におい横綱とか罵声をあびせていてその子は泣いていました。こんなチームとは二度と交流したいと思いませんでした。

他チームでのコンプライアンス違反事案【ハラスメント・危険な指導】

<セクハラ・性犯罪>

- 男子部員が女子マネージャーの下着を盗んだ。
- 試合中、対戦チームの女子選手がボールを持った瞬間に、「尻にボールを取られた！」と子どもの前でゲキを飛ばす。
- 女子浴室の盗撮
- 男性部員による女子生徒更衣室の盗撮

<学業との両立>

- 勉強や外部テストの為に練習に出られない事を責められた。
- 合宿と時期が重なってしまった校内夏期講習を受講した場合メンバーに入れな事を思わせるような言動で子供達にプレッシャーをかけ、夏期講習の受講ができなかった。

<危険な指導>

- 他学年で熱中対策を怠っていたと聞きました。
- 理不尽な長時間の走り込み。
- コーチによるローヘッドプレーの強要（教え込み）
- 脳振盪やケガした子に、そのまま試合出場を促した。

他チームでのコンプライアンス違反事案【差別】

＜選手の能力による差別＞

- スタメン以外の子供に対し、指導しない、見向きもしない等の差別
- 下手だと決めた選手には指導もしてくれない。
- 完全勝利主義により、実力のある選手とそうでない選手への格差対応。

＜最良＞

- 自分の子ども(チームの選手)に有利(言う事を聞く等)な選手を試合に出している。
- 一定個人のみ載せたSNS

＜人種差別＞

- ハーフのお子さんに対して、人種差別的発言があったそう。

他チームでのコンプライアンス違反事案【SNS・不適切な経理処理・その他】

＜プライバシー侵害＞

- SNS上での進学先と個人名の宣伝。

＜誹謗中傷＞

- 以前所属していたラグビースクールの指導が合わず本人が精神的に辛くやめたいと言ってきたのでやめたところ、事実ではない内容を絡めネットへの書き込み、関係者や保護者の方へ伝えるという誹謗中傷にあいました。

＜不適切な経理処理＞

- 経理を任されている保護者が部費の会計処理ができていなかった。
- チーム内グッズ作成時に作成者に営利になるような販売の仕方

＜その他＞

- 上手な選手への妬みでのいじめ行為
- 他校にタバコを吸っている生徒がいると聞いたそうです。

所属チームでの指導に期待すること【どのように指導してほしいか？】①

＜期待するアプローチA＞(大多数)

- 勝利至上主義ではなく、人間性を高める指導
- ラグビーの楽しさを教えてもらいつつ、技術の向上に対する気持ちを作ってもらいたい。
- 分け隔てのない平等な指導
- 自主性を尊重した指導
- それぞれの個性・ペースに合った指導
- 褒めて伸ばす指導

＜期待するアプローチB＞(多数)

- 厳しく楽しく、メリハリのある指導(多数)
- コンプライアンス意識は重要だが、萎縮しすぎないようにして、バランスの取れた指導を期待する。
- ある程度の厳しさは求めたい。
- 時には厳しい言葉掛けで子供達を奮い立たせたり、チームの士気を盛り上げてほしい。
- ラグビーはコンタクトを伴うスポーツである為、時には厳しく、ケガの予防的声かけは必要だと思います。

所属チームでの指導に期待すること【どのように指導してほしいか？】

＜期待するアプローチC＞

- 安全第一
- ルール等の適切な指導

＜期待するアプローチD＞

- 勝つための指導
- 技術向上できる指導

＜まとめ＞

- アプローチAが大多数を占め、厳しく指導するよりも子ども一人一人にあった指導で人間としての成長をサポートしてほしいという声が多かった。
- 一方で、アプローチBのように礼儀等を教えるためにはある程度の厳しさも必要という声も多かった。
- アプローチDのような勝利至上主義的回答はほとんど0に近かった。

所属チームでの指導に期待すること【子どもに学んでほしいこと】

<精神面>

- ラグビーの楽しさ(大多数)
- 人間的成長(大多数)
- 挨拶、返事、集合等の礼儀(多数)
- フェアプレーの精神・スポーツマンシップ・チームワーク・協調性
- 忍耐力

<技術面>

- 基本スキルをしっかり練習してほしい
- 怪我をしない、させないプレイの徹底(ハイタックル等)

<まとめ>

- ラグビースキルの向上や勝敗にこだわるよりも、ラグビーの楽しさを知り好きになってほしいという意見が非常に多かった。また、ラグビーを通じて人間的に成長することを期待する保護者が多かった。

暴力・暴言・ハラスメントについての考え①

＜断固反対＞(大多数)

- 絶対にあってはならない(大多数)
- 許せない(大多数)
- 今の時代にそぐわない(多数)
- 徹底的に排除してほしい
- 犯罪である
- 暴力では何も解決しない
- 指導の範囲を超えてはならない

＜線引きが難しい＞

- 望ましくないが、線引きは難しい
- 暴力はもつてのほかですが、行き過ぎたハラスメントの考え方には疑問があります。どういう行為言動考え方がハラスメントか、ハラスメントではないか、何度も、その都度話し合っていくことを絶やさないことが必要だと思います。また、大前提として組織内でお互いを信頼尊敬できる関係づくりをすることが大事だと感じます。
- 暴力、暴言は、必要はありません。ただ、近頃過敏になり過ぎている気がします。

暴力・暴言・ハラスメントについての考え②

＜時には必要＞（多数）

- 多少は仕方ないとは思いますが、保護者に説明できる範囲で指導をお願いしたい。人権を侵害したり一人だけを攻撃したりする等、いじめには直結しない指導をしていただけたらと考えている。
- 指導する上で、ある程度の厳しさは必要だと思っています。それがプラスの要素と繋がれば良いのですが、子ども達が萎縮してしまうような雰囲気になってしまうと残念に思います。コーチも保護者も子ども達と同じ目線でラグビーを「楽しむ」ことができれば・・・と願います。
- 子ども、指導者、保護者の信頼関係のもとある程度の厳しい指導も時には必要で、社会に出た時に子ども達の良い経験になると思います。
- 子どもの個性を捉えた指導が必要になると思います。
- 暴力や暴言は良いとは思わないが、子供が誤って危険な行為をした場合（試合中、練習中）は、時として厳しい指導が必要な場合もあるかと思っています
- 暴力、ハラスメントはイヤですが多少の気持ちが強くなるような言葉は欲しいです。
- 暴力や暴言は困りますが、メリハリをつけるためにももう少し厳しくするのは接して貰えたら良いのかなぁと思っています。

ラグビー界から暴力・ハラスメントを根絶するには？①

- 分からない(多数)

＜意識改革＞

- 指導者の教育・意識改革(大多数)
- 昔の考えを断ち切る(多数)
- 勝利至上主義からの脱却(多数)
- 保護者の理解
- お互い尊重し、注意しあう

＜組織の透明化＞

- 保護者・選手とのコミュニケーション(多数)
- 第三者による定期的な聞き取り調査(多数)

ラグビー界から暴力・ハラスメントを根絶するには？②

<相談窓口>

- 相談窓口の周知
- 内部通報ができる仕組み、内部通報者が守られる仕組みがあると良いと思います。
- ハラスメントホットラインを各都道府県協会が設置
- インテグリティ相談窓口の存在を、ほとんどの人が知らないなので、選手、保護者、指導者に広く周知すると共に、相談者の匿名性や、一方の意見に偏重しない事にも高い安心感を持ってもらう。その為に、事例を広く共有する体制があれば良いと思う。

<啓蒙活動>

- 今回のようなアンケート調査(多数)
- 曖昧なハラスメントの定義を年齢層ごとに保護者を含めた関係者、指導者に開示し、再認識と周知を図る。
- 先生、子ども、保護者の意識向上のための啓蒙活動の継続

JRFUインテグリティ相談窓口の認知度

インテグリティ相談窓口の認知度

